

お殿様

南條 里美

大内のお殿様の地に 世を受けた者

笠井順八の地に 世を受けた者

各々が混ざり合って 生きており

図書館という 交流の場で ひさかたの光に続く道となった

しもべとして仕えて 長年支えたが

やくものように 巣立っていった

もく もく もく もく もく・・・

思い出が多いが

心のポケットにしまっておく

何故なら 飛ぶ鳥のなくなるもの

残っていたものは 白妙（しろたえ）の 大きいものであった

これから 旅立つときがきたと感じている

このひろい 地球（ソラ）に